

◆2018年08月03日～2018年08月10日追加分◆

コード	題名	内容	時間(分)
03 18 02	ETV特集 “いるんだよ”って伝えたい ～横浜・特別支援学級の子どもたち～	横浜市にある小学校の特別支援学級に密着。ここでは、発達障害などさまざまな理由で助けを必要とする子どもたちに、安心できる環境を整えてきた。ここで自己肯定感を育んだ子どもたちが、いつも緊張しながら足を運ぶのが、大人数の一般学級に参加する「交流」だ。交流をめぐる少年の喜びと葛藤、中学での進路に揺れながら交流へと向かう少女の日々を描く。また、ある出来事を機に、心の壁を取りはらおうとする支援学級と一般学級の子どもたちの成長を記録する。(2017年5月27日放送)	59
04 18 05	ハートネットTV 広がる“農福連携” ～新しい地域のカタチ～	人手不足の農家と、低賃金に悩む障害者。この両者が手を結ぶ“農福連携”と呼ばれる取り組みが、いま注目を集めている。障害者の雇用を始めたことで、売り上げを拡大し続けている農家。自ら農地を借り受け主体的に農業に取り組む福祉事業者などが集まり、農福連携の現状と課題について考える。(2017年7月11日放送)	29
04 18 06	ETV特集 亜由美が教えてくれたこと	去年7月26日、相模原市の障害者施設で入所者ら46人が次々と刺され、19人が亡くなった。逮捕された男は「障害者は不幸を作ることしかできない」と言った。NHK青森でディレクターをしている僕の妹・亜由美は、犠牲者と同じ重度の障害者。障害者の家族は不幸じゃないと伝えたくて、妹にカメラを向けることにした。亜由美に対して抱く家族それぞれの思いを、僕は何も知らなかった。介助を通じて向き合った1か月の記録。(2017年7月22日放送)	59
04 18 51	ハートネットTV シリーズ 相模原障害者施設殺傷事件 言葉はなくとも 重度知的障害のある人たち ●字幕付	容疑者が「意思疎通ができない人々を刺した」と語った相模原市の障害者入所施設「津久井やまゆり園」での殺傷事件。被害にあったような人たちは、どのような日常を送っているのか。コミュニケーションが難しい子どもたちが少しずつ成長し、穏やかに暮らすための“療育”に取り組む施設。重度障害がある人の“意思”を毎日の細かな反応からすくい取る地域支援の現場など、言葉に頼らないコミュニケーションで心を通わせあう人たちの姿を見つめ、“いのちの尊さ”について考える。(2016年12月7日放送)(○字幕無し⇒コード番号:041801)	29
04 18 52	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第1回 少年院の現場から ●字幕付	近年、刑務所や少年院といった現場で「発達障害」が注目されている。発達障害に対する理解や支援が社会の中で不足する中、不適応や“問題行動”を止められず、犯罪に至ってしまう人が多くいることが分かってきた。発達障害者の再出発のために何が必要なのか。シリーズ第1回は、少年院の現場から考える。(2017年05月30日放送)(○字幕無し⇒コード番号:041802)	29
04 18 53	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第2回 出所、そして社会へ ●字幕付	罪を犯した発達障害者の中には、刑務所や少年院をでた後も、障害への適切な支援を受けられず、結果として再び罪を犯す人も少なくない。どうすれば再犯を防げるのか。シリーズ第2回は、刑務所や少年院から出た後、社会へ復帰するための支援について考える。(2017年05月31日放送)(○字幕無し⇒コード番号:041803)	29